

## 【開催概要】

日時 平成30年2月3日（土）14：00～15：30  
主催 環境省北海道地方環境事務所  
共催 （公財）北海道新聞野生生物基金  
参加者 約100名

## 【実施内容】

本セミナーでは、鳥類をはじめとした野生の生きものに寄り添い、生きものの特性を考え、魅力的に撮影する方法を学ぶため、写真家・エッセイストの竹田津実氏による講話や嶋田忠氏、小川巖氏を交えてのトークセッションなどを行いました。



## 講演『野生生物撮影の極意～生きものに寄り添う撮影方法～』

竹田津氏より、これまでの経験を踏まえて「生きものの撮影は楽しく、自分が心を動かされたときにシャッターをきって欲しい。ただ、他人の土地には不法侵入になるので入ってはいけない」といったお話がありました。

## 作品講評『より野鳥を魅力的に撮るためのワザ』

応募作品69点の中から、特に優れた作品として選んだ9点について、会場で講評を行いました。「良い写真は、その背景にあるストーリーや環境にも想像が膨らむ」「全体を考え、あえて対象を中央から外し撮影する」等の講評がありました。

## トークセッション『野生生物と私たち』

撮影者がタンチョウに近づき、飛び立たせてしまった映像などを題材にトークセッションを行いました。

出演者からは

- ・画一的なルールを作るのではなく、留意事項などを多くの人と議論が必要。
- ・野鳥のことを考えずに、写真だけを考えて作品だけを作りたいという人は残念ながら数%いる。そのため、初期から撮影者を楽しませる工夫を施した場所や立ち入り禁止の場所の設置など、ゾーニングが求められる。といった意見が出されました。



竹田津氏



嶋田氏



小川氏

## 【写真展のご案内】

応募作品69点の中から選ばれた優秀作品23点を、以下の日程で展示します。ぜひ、お誘いあわせのうえ、お越しください。

- 2月4日～9日 札幌地下街オーロラタウン内「オーロラコーナー」
- 2月20日～25日 札幌市資料館ミニギャラリー6
- 日時未定（3月ごろ）三井住友信託銀行 札幌支店

# 生きものの 気持ちを考えた 観察・撮影

野生生物は、とても臆病で神経質です。生きものの気持ちを考えた観察・撮影をして、この先もずっと、生きものが安心して暮らせるようにご協力ください。



## 近づきすぎない

巣作りから子育て中は、特に敏感になっています。



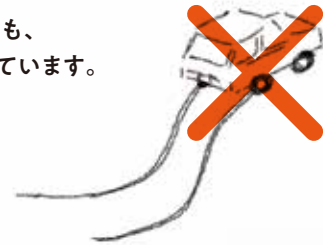
## 自然地に車で入らない

河原や砂浜などにも、生きものが生息しています。



## 生きものに近い時は 車から降りない

車内にいることで生きもののストレスを軽減できます。駐停車は、迷惑にならないよう注意しましょう。



## 餌付けしない

生きものが自力で食べ物を探したり、狩る力を弱め、自然の中にないものを食べると、病気になることもあります。

## 私有地に 無断で入らない

農地などに立ち入ることで、作物を傷つけます。



## 野鳥をわざと 飛び立たせない

驚かせることは生きものにとってもストレスになります。



## 木の枝や 草を切らない

生きものが見にくい時でも勝手に切ることはできません。



## 生きものの 気持ちを考える

生きものがいつもと違う行動(大声で何度も鳴く、周囲を気にするなど)をしたら、静かにその場から離れましょう

# 人と生きものが一緒に暮らすために

## 道央でのタンチョウとの共生に向けて

かつて、道東以外ではあまり見られなかったタンチョウですが、最近では道央地域でも見られるようになりました。

しかし、飛来したタンチョウに観察者や写真愛好家が集まり、近づきすぎたために警戒したタンチョウが飛び去ったり、追い掛け回しが原因でヒナが事故死するといったことが起きています。

千歳川流域の洪水対策のため舞鶴遊水地が整備された夕張郡長沼町でも、飛来するタンチョウへの人の接近が課題として挙げられたため、この地域をモデルに、住民や関係者、学識者等とともに「タンチョウ分散に向けた環境保全と利用のガイドライン」の作成を進めています。

このような行動で、タンチョウはストレスを感じ飛び去ってしまいます



写真左：人がタンチョウに接近。この後警戒したタンチョウは飛び去る。(2016年9月)



写真右：接近した車から人が降りたため、警戒したタンチョウが飛び去る。(2017年9月)

## タンチョウも住めるまちづくり検討協議会

事務局：北海道開発局札幌開発建設部、長沼町

整備中の舞鶴遊水地へタンチョウが飛来したことをきっかけに、遊水地を軸としたタンチョウも住めるまちづくりの実現のため平成28年9月に協議会が設立されました。

環境省北海道地方環境事務所も協議会の一員として検討に加わっています。

「タンチョウ分散に向けた環境保全と利用のガイドライン」は、今後HP等で公開予定です。

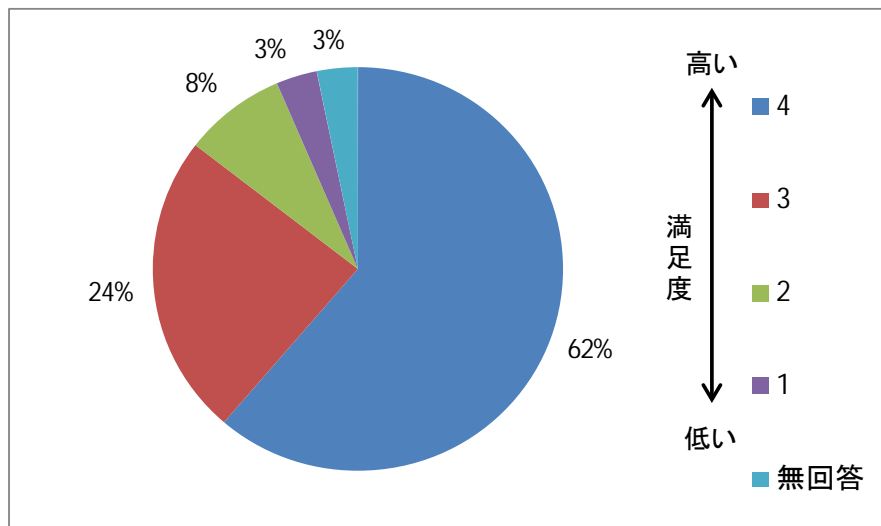
環境省北海道地方環境事務所

## プロに学ぶ 野生生物撮影の極意～生きものに寄り添う撮影方法～ アンケート集計結果

- 参加人数：99人
- 回収数：62枚
- 回収率：63%

### 問1. セミナーの開催内容に対する満足度

セミナー内容に対する満足度について、1～4（数字が大きくなるほど、満足度が高い）で回答してもらった結果、最も満足度の高い「4」の回答が半数（62%）であった。また、次に満足度の高い「3」の回答と合わせると86%がセミナーの内容におおむね満足していることがわかる。



### 問2. 1の回答理由

#### <講演内容について>

- ・ 講師の話が分かりやすくてよかった。
- ・ 講師の言葉の一つ一つに感銘を受けた。
- ・ 竹田津さんのお話し楽しかった。
- ・ あまり堅苦しくなく理解しやすくてとても良かったです。
- ・ 講演された北海道の重鎮お三方が野生動物と人とキョリのお話しを沢山して下さったことが満足。
- ・ ゲスト3名の方の考え方の違いが分かり面白かった。
- ・ ビデオ上映を中心に訴えてもらえるとより主旨が伝わると思った。
- ・ 嶋田さんのお話がもう少しあれば良かった。
- ・ マナー違反にクローズしたお話が多すぎた。







